

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | クレアヘアモード専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 エイシンカレッジ |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|--------|------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 衛生専門課程 | 美容師科 | 夜間・通信 | 1890時間 | 160時間以上 | — |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| ホームページによる公表「実務経験のある教員等による科目一覧」 https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure02-1.pdf |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-------------|
| 学科名 |
| —(困難である理由)— |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | クレアヘアモード専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 エイシンカレッジ |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページによる公表「理事名簿」
https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure06-4.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|-------------|-----------------------|---------------------|
| 非常勤 | 学校法人（他法人）役員 | R3. 1. 8 ～R7. 1. 7 | コンプライアンス |
| 非常勤 | 株式会社役員 | R3. 1. 8 ～R7. 1. 7 | コンプライアンス |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | クレアヘアモード専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 エイシンカレッジ |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|--|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程修了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要及び各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を教務会議にて検討し次年度の授業計画書(シラバス)を作成するものとする。</p> <p>2. 授業計画書(シラバス)の作成・公表時期について 授業計画書(シラバス)は、主に科目の担当教員が計画・作成し、学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 (1) 科目名 (2) 担当教員 (3) 担当教員の実務経験 (4) 授業時間・授業期間 (5) 授業形態 (6) 使用教材 (7) 到達目標 (8) 成績評価の方法と基準</p> <p>※作成に関する詳細は、下記 URL (「シラバス作成のガイドライン」) https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2019/pdf/disclosure/disclosure03.pdf なお、授業計画書(シラバス)は年度更新とし、新年度の授業開始前に公表するものとする。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | ホームページによる公表「シラバス」 https://crea-nagaoka.jp/disclosure/ |
| <p>2. 学修意欲の把握、各種試験やレポートなどの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学科別に組成された授業計画書(シラバス)の「成績評価の基準」に基づき、筆記試験科目では期末試験(年度内2回実施)において設問(100点満点)による得点で理解度を評価し、基準を満たすものには履修を認定し単位を授与する。 実技課題を基本とする科目においては、各種技術習得の到達目標を学生に提示し、授業毎に目標に到達するよう意欲的に取り組み、期末試験の他、実技試験において技術習得度をチェックし、提出課題も含めた平均値を総合評価し、基準を満たすものには履修を認定し単位を授与する。 <p>詳細は、下記 URL「学習(成績評価基準)」 ホームページによる公表「学習について(成績評価基準)」 https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2019/pdf/disclosure/disclosure04.pdf</p> | |

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

筆記試験科目

期末試験を年度内に2回実施する。(各科目100点満点で点数化)

- ①試験実施全教科の合計得点から平均得点を算出
- ②平均得点からクラス内順位をつける
- ③平均得点とクラス内順位から、下位1/4に該当する人数を算出する
- ④平均得点から下位1/4に該当する指標の数値を算出する

※指標の数値を得点別に設定し人数を割り出す

| 指標の数値 | 人数 |
|---------|----|
| 91～100点 | |
| 81～90点 | |
| 71～80点 | |
| 61～70点 | |
| 51～60点 | |
| 50点 | |

※成績分布表記・順位別成績分布

| 表記 | 成績分布 |
|----|---------|
| SA | 上位4分の1 |
| SB | 中上位4分の1 |
| SC | 中下位4分の1 |
| SD | 下位4分の1 |

〈実技課題科目〉

- ①科目の技術別に設定した到達目標の習得度を進捗に合わせて適宜チェックし、成績を評価する。
- ②履修科目の成績評価を点数化し、合計点の平均を算出する。
- ③成績評価は下記の区分によって評定し「C」以上を合格とする。

| 評価区分 | 評価の基準 | 点数 |
|------|--------------------------------|---------------------|
| A | 基本的な目標を十分に達成し、極めて優秀な成果をおさめている。 | 80点以上 |
| B | 基本的な目標を十分に達成している。 | 70点以上 ～ 80点未満 |
| C | 基本的な目標を達成している。 | 60点以上 ～ 70点未満 |
| D | 基本的な目標を最低限達成している。 | 60点未満 |

| | |
|--|---|
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <p>ホームページによる公表 「成績分布について」 https://creanagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure04-3.pdf 「成績分布表」 https://creanagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure04-4.pdf?2</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><卒業の認定に関する方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定は、本校が定めた授業を履修し、科目別に定めた到達目標に取り組み、実技試験及び筆記試験において基準を満たす学習成果を修了した者に対し卒業を認定する。 ・以下の条件を満たした者に対して、卒業を認定する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本校に定められた修業年限以上在学し、所定の全課程を修得した者について教職員会議を経て学校長が卒業を認定する。 (2) 年間の出席率が総授業時間数の80%以上であること。 (3) 成績評価がすべて“C”以上であること。 <p>※上記(1)の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。</p> <p>※上記(3)の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業を認定する試験を別途実施する場合がある。</p> <p><卒業認定の実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定基準を踏まえ、卒業認定会議(学校長・副校長・教員)を経て卒業を認定するものとする。 | |
| <p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p> | <p>ホームページによる公表「ディプロマポリシー・卒業進級・専門士」 https://creanagaoka.jp/common_pc_2019/pdf/disclosure/disclosure06.pdf</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | クレアヘアモード専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 エイシンカレッジ |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure06-1.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure06-2.pdf |
| 財産目録 | https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure06-3.pdf |
| 事業報告書 | https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure06-7.pdf |
| 監事による監査報告（書） | https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure06-6.pdf |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------|----|-----------------------|-------------|-------|--------|------|-----|
| 衛生 | | 衛生専門課程 | 美容師科 | ○ | — | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 2040時間 | 510時間 | 0時間 | 1530時間 | 0時間 | 0時間 |
| | | 2040時間 | | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 80人 | | 58人 | 0人 | 5人 | 8人 | 12人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>【昼間課程2年制】</p> <p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程修了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要及び各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を教務会議にて検討し次年度の授業計画書（シラバス）を作成するものとする。</p> <p>2. 授業計画書（シラバス）の作成・公表時期について 授業計画書（シラバス）は、主に科目の担当教員が計画・作成し、学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 （1）科目名 （2）担当教員 （3）担当教員の実務経験 （4）授業時間・授業期間 （5）授業形態 （6）使用教材</p> |

(7) 到達目標 (8) 成績評価の方法と基準

※作成に関する詳細は、下記 URL (「シラバス作成のガイドライン」)

ホームページによる公表「シラバス作成のガイドライン」

https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2019/pdf/disclosure/disclosure03.pdf

なお、授業計画書(シラバス)は年度更新とし、新年度の授業開始前に公表するものとする。

※昼間課程カリキュラム詳細は、下記 URL (「昼間課程教育内容」)

ホームページによる公表「昼間課程教育内容」

https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure04-1.pdf

成績評価の基準・方法

(概要)

【昼間課程 2年制】

〈筆記課題科目〉

期末試験を年度内に2回実施する。(各科目100点満点で点数化)

- ①試験実施全教科の合計得点から平均得点を算出
- ②平均得点からクラス内順位をつける
- ③平均得点とクラス内順位から、下位1/4に該当する人数を算出する
- ④平均得点から下位1/4に該当する指標の数値を算出する

〈実技課題科目〉

- ①科目の技術別に設定した到達目標の習得度を進捗に合わせて適宜チェックし、成績を評価する。
- ②履修科目の成績評価を点数化し、合計点の平均を算出する。
- ③成績評価は下記の区分によって評定し「C」以上を合格とする。

概要は下記 URL (「成績分布について」)

https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure04-3.pdf

卒業・進級の認定基準

(概要)

【昼間課程 2年制】

・卒業認定は、本校が定めた授業を履修し、科目別に定めた到達目標に取り組み、実技試験及び筆記試験において基準を満たす学習成果を修了した者に対し卒業を認定する。

・以下の条件を満たした者に対して、卒業を認定する。

- (1) 本校に定められた修業年限以上在学し、所定の全課程を修得した者について教職員会議を経て学校長が卒業を認定する。
- (2) 年間の出席率が総授業時間数の80%以上であること。
- (3) 成績評価がすべて“C”以上であること。

概要は下記 URL (「ディプロマポリシー・進級卒業・専門士」)

https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2019/pdf/disclosure/disclosure06.pdf

(概要)

概要は下記 URL (「学習支援等」)

https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure05.pdf

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 20人 (100%) | 0人 (0%) | 20人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 美容室、まつ毛エクステサロン、ネイルサロン | | | |
| (就職指導内容) 美容系職種別説明会、マナー講座受講、履歴書指導、面接指導 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許・ビューティーコーディネーター検定3級・パーソナルカラー検定3級 ネイリスト技能検定3級・ジェルネイル技能検定初級、中級・化粧品検定2級 ネイルサロン衛生管理士・ヘアケアマイスタープライマリーコース | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 51人 | 3人 | 5.9% |
| (中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談(入学後、進級後、気になる言動があれば速やかに実施する) | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 美容師科 | 120,000 円 | 440,000 円 | 470,000 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|--------------------------------|-------|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「学校自己点検・自己評価」 https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure08-2.pdf | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 〈基本方針〉 学校関係者評価は自己評価の結果を本学の関係者により組織した学校関係者評価評価委員会に報告し意見を聞き、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。 また、学科教員はカリキュラムの原案を作成するにあたり、本委員会での意見を基に専門的かつ実践的な教育課程編成を決定していくものとする。 〈主な評価項目〉 ①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学習成果 ⑤学生支援等 ⑥教育環境 ⑦学生の受入れ状況 ⑧財務 ⑨法令等の順守 ⑩社会・地域貢献 〈評価委員会の構成〉 次の区分のいずれかから学校長が委嘱する委員2名以上により構成する。 (1) 関連業界等関係者 (企業等委員) (2) 卒業生 (3) 教育に関し知見を有するもの (4) その他学校長が必要と認めるもの なお、委員の任期は1年とし、再任を妨げないものとする。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 株式会社きくや美粧堂新潟支店 | 1年 2021年4月1日～ 2022年3月31日 | 企業等委員 |
| 株式会社リッチ | 1年 2021年4月1日～ 2022年3月31日 | 企業等委員 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「学校関係者評価報告書」 https://crea-nagaoka.jp/common_pc_2020/pdf/2020disclosure/disclosure08-3.pdf | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://crea-nagaoka.jp/ |
|--|

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | クレアヘアモード専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 エイシンカレッジ |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|--------------------|------|-----|-----|-----|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） | | 14人 | 13人 | 14人 |
| 内 訳 | 第Ⅰ区分 | 9人 | 10人 | |
| | 第Ⅱ区分 | 3人 | 1人 | |
| | 第Ⅲ区分 | 2人 | 2人 | |
| 家計急変による支援対象者（年間） | | | | 0人 |
| 合計（年間） | | | | 14人 |
| (備考) | | | | |

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 | | |
|---|---------|-----|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。） | | | |
| 修業年限で卒業又は修了 できないことが確定 | 人 | 0人 | 0人 |
| 修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下) | 人 | 0人 | 0人 |
| 出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況 | 人 | 0人 | 0人 |
| 「警告」の区分に 連続して該当 | 人 | 0人 | 0人 |
| 計 | 人 | 0人 | 0人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

| 右以外の大学等 | | 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。） | | | |
|---------|---|---|----|-----|----|
| 年間 | 人 | 前半期 | 0人 | 後半期 | 0人 |
| | | | | | |

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 退学 | 0人 |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|---|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下) | 人 | 0人 | 0人 |
| GPA等が下位4分の1 | 人 | 0人 | 0人 |
| 出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況 | 人 | 0人 | 0人 |
| 計 | 人 | 0人 | 0人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。